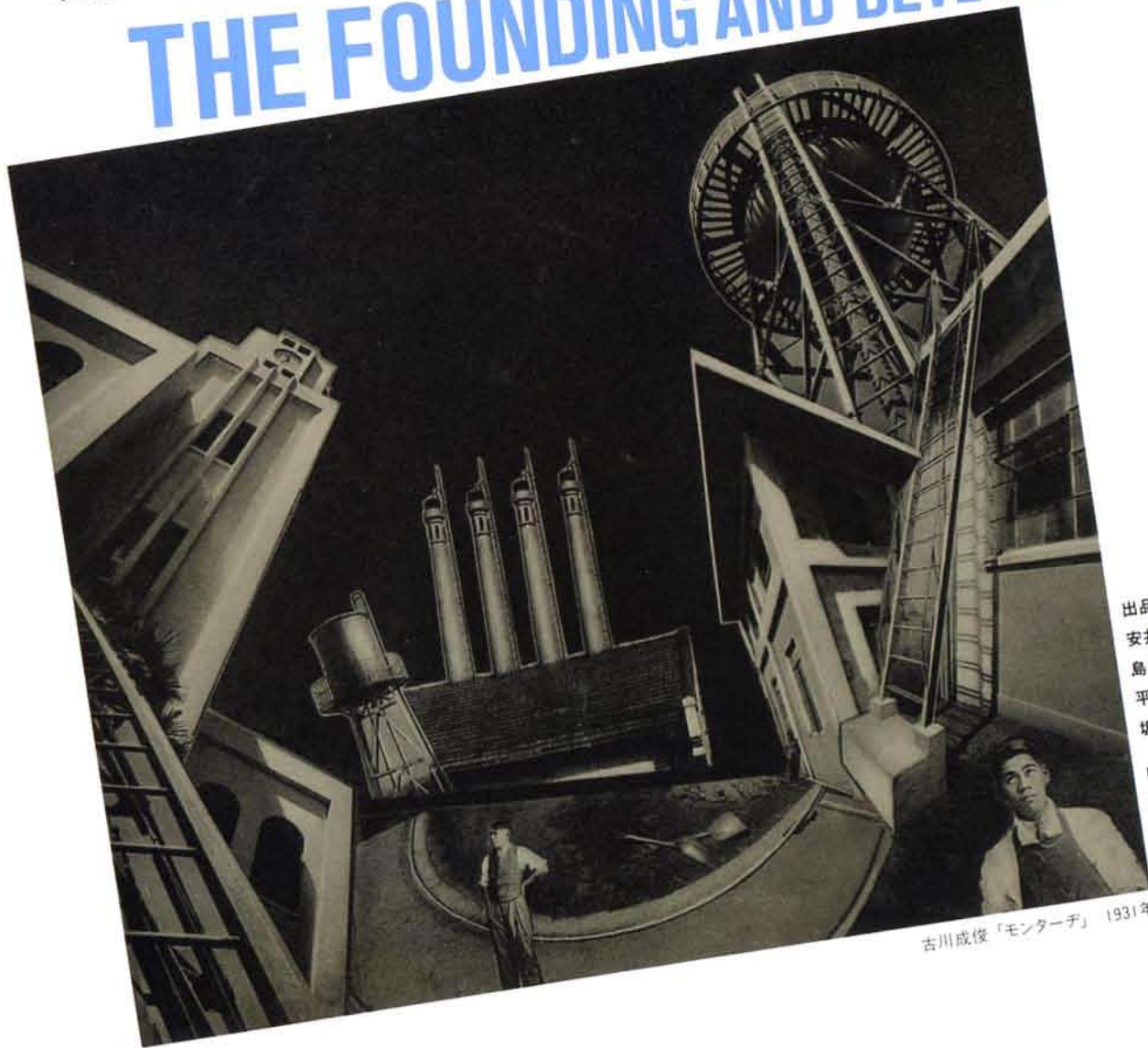


# THE FOUNDING AND DEVELOPMENT OF MODERN PHOTOGRAPHY IN JAPAN

総合開館記念展 [日本近代写真の成立と展開] 1995.1.21 SAT. → 3.26 SUN.

## THE FOUNDING AND DEVELOPMENT OF MODERN PHOTOGRAPHY IN JAPAN



古川成俊「モンターチ」 1931年

出品作家＝木村伊兵衛、野島康三、福原信三、福原路草、  
安井仲治、植田正治、西山 清、本庄光郎、堀野正雄、古川成俊、  
島村達紅、淵上白陽、矢野敏延、金丸重嶺、  
平井輝七、瑛 九、永田一脩、中山岩太、ハナヤ勘兵衛、  
坂田 稔、田村 栄、小石 清 他

開館時間＝午前10時 午後6時(金曜日は午後9時)まで  
入館は閉館の30分前まで 休館日＝毎週月曜日  
観覧料＝一般・大学生500(400)円・小・中・高校生250(200)円  
( )内は、20名以上の団体料金(映像展示室の観覧料を含む)  
会場＝3階常設展示室 主催＝東京都写真美術館

東京都写真美術館

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031  
1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153

# THE FOUNDING AND DEVELOPMENT OF MODERN PHOTOGRAPHY IN JAPAN

総合開館記念展 [日本近代写真の成立と展開]

## THE FOUNDING AND DEVELOPMENT OF MODERN PHOTOGRAPHY IN JAPAN



安井仲治「少女」 1941年



淵上白陽「静物」 1924年



金丸重嶺「マダム・フジタ」 1934年



島村達紅「題不詳」 1920～30年代



写真集「日本」より(構成:熊田五郎、写真:土門拳) 1937年頃

明治維新後、日本が近代化への道を歩むとともに社会の中に浸透した写真は、人々の意識の変化やカメラの機能の向上とその量産化をきっかけに、より大衆のものとなりました。そして1920年代から30年代になると写真独自の表現が模索され、それまでの営業写真師とは違う、新しい社会的存在としてのプロの写真家の出現をむねしました。また全国に存在していたアマチュア写真クラブを中心に活躍していた写真家たちにも刺激を与え、実験的な作品の創作を促しました。写真は新しい領域を開拓し、従来の枠をこえた表現形態をもつようになったのです。

この時代は現在に至る写真表現の本質がまさに成立し展開した時期であり、広告写真、報道写真、前衛写真などの様々な分野が確立されました。また写真論の隆盛や絵画、文学や演劇といった他の芸術分野との連携によって、写真は多方面への広がりを見せました。本展ではこのような写真史的な背景に基づき、1920年代から終戦までという、日本の写真史上で最も多彩で重要な展開を遂げたこの時代に焦点をあて、新しい写真の領域を獲得した写真家たちの代表的な作品と、当時の書籍、写真雑誌等の関連資料を展示します。今日の写真表現の原点を築いた先人たちの軌跡を様々な側面から捉えることによって、日本の写真における近代表現の豊かさと今日の写真表現の原点をさぐります。

(作品約180点及び関連資料約50点で構成)



交通機関＝JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)。お車でのご来館はご遠慮ください。

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031  
1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153